

1 千葉県流山市新市街地地区(流山おおたかの森)

活動

流山新市街地地区の安心・安全まちづくり協議会を中心に、地元自治会、大学等が参加して被災時の行動等を想像するワークショップを実施。

地区の概要

本地区は、つくばエクスプレスの流山おおたかの森駅の周辺に土地区画整理事業で整備中の新市街地地区です。

本地区では、防犯、子育て、防災などを主なテーマとし、大学、市民グループ、地権者、警備業協会、鉄道事業者などの地元関係者が流山市、流山警察署、UR都市機構の協力支援のもとに、安心・安全まちづくり協議会が設置され、同時に学識経験者や関係機関代表によるサポーター会議（安心・安全まちづくり連絡会議）も設けられています。

活動までの土台づくり

本地区における既存組織「流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会」は、地元住民、市民グループ、事業者、大学など複数の組織が連携して取り組みを行っていることから「防災隣組」としての活動に関わりうる組織です。

本事業では、当該組織を母体として、防災についても地区住民及び事業者、地域の大学の学生などの参加を加え、意識を共有して、自助、共助の意識を高めることを目的としてワークショップを行いました。



活動の様子

◆ワークショップ



◆発表会



活動のヒント

- ★防災ではないテーマで既に活動している有識者や住民による協議会等に対し、防災という共通のテーマで、自助、共助、公助に関する日常的な取組みを行うきっかけ作りを行うことが有効です。
- ★中心となる既存組織から、徐々に他の組織との連携を増やしていくことにより、多面的な「防災隣組」活動へ醸成することができます。
- ★災害時の状況などを映像で見せ、災害時における身近な被害を考えて書き出し、議論することにより、臨場感を持って災害に対する意識を持つことができます。